

『薬物治療塾』

薬剤師が薬物治療に立ち向かうための
基礎力充実を目的とした勉強会です

講義要項 (第10期前期コース : 2018/11~2019/3)

対象	コース	定員
入門 全ての薬剤師	PK/PD入門コース 【A-1】	30名
	臨床統計入門コース 【B-1】	30名
	薬物治療文献コース 【C-1】	30名
総合 A~Cコースいずれかの受講者	自らが取り組む新医薬品の客観的 評価コース 【D-1】	15名

各コースそれぞれ
前期 5回・後期 5回
13:10~16:20の3時間
(休憩10分含む)
各コースは月1回日曜日開催します

会費：
A~Cコース5回分 (15時間)
一般会費 10,000円
特別会費 (*) 6,000円
Dコース5回分 (15時間)
一律 3,000円

特別会費 (*) 対象者：
・日本アプライド・セラピューティクス (実践薬物治療) 学会会員
・薬物治療モニタリング研究会会員
・明治薬科大学大学院臨床薬学専攻
修了者

申し込み方法：
詳細はHPをご覧ください
<http://plaza.umin.ac.jp/~juku-PT/>

9月10日より
第10期前期コース
受講者募集開始

講義概要 (いずれも講義と演習のスタイル)

A-1コース：臨床薬物動態情報の読み方を学び、式を極力使わず、薬物の体内の動きをイメージとして把握出来るようにします。また、各薬物の特徴づけから治療への適応を考えられるようにします。

B-1コース：検定・推定 (パラメトリック、ノンパラメトリック) を中心に、式などは極力避け、統計の考え方をイメージで把握できるように努め、統計データの読み方のポイントを学びます。

C-1コース：実際の臨床試験論文を取り上げながら、講義と演習を通じて、記載された方法・結果・図表データ等から把握すべき情報を正確に読み取るスキルを身につけます。読み取った情報を批判的に吟味し、治療法の有効性や安全性、予後などを自ら評価できるようにすることを目指します。

D-1コース：本コースは既にA~Cコースのいずれかを受講された方々による自主運営のコースです。A~Cコースで学んだ臨床薬物動態、統計、文献評価の知識をもとに、実臨床で使われている医薬品の有効性・安全性に関する全体像の把握に取り組みます。それらの取り組みを通して、医薬品の有効性・安全性、更にそれらの医薬品情報に対する客観的な評価能力を身につけ、医療者に適切に情報提供が行えることを目指します。

運営方法・形式は参加者全員による討論形式です。事前に指定された医薬品について班毎に検討内容を事前に分担し、当日は発表担当班の検討内容をもとに議論を進めます。

なお、Dコースでは見学参加も受け付けております。参加希望だが、いきなりのコース参加に不安がある方、実際に勉強会を体験してみたい方は一度見学にお越しください。見学を希望される方は資料をお送りしますので「jukupt.d@gmail.com」まで御連絡下さい。